

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 安全・快適な交通環境づくり事業

[評価年月日] 平成12年11月10日

[主担当部課名] 生活部生活課

[記入課名・課長名] 生活部生活課・宮村 由久

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策： 安全な生活の確保 (— 1)

施策： 交通安全対策の推進 (3)

総合計画の目標項目： 交通事故死者数

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策： 道路網の整備

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

自動車保有台数の増加と運転免許保有者数の増加に伴う交通事故の発生件数、死傷者の増加。

事故多発地点及び今後事故が予測される地域に重点的に投資を行うことにより交通事故による死傷者を抑制しようとするが道路整備が進むより、自動車保有台数及び運転免許保有者数がそれ以上に増加するため、交通環境の改善は非常に厳しい状況にある。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたのか)

道路利用者が安心して利用できる、交通事故のない安全・安心が確保された快適・円滑な交通環境の確立。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

交通環境安全度

整備箇所数

1 - _____

交通事故多発地点

変更した場合の成果指標名・成果指標式

交通事故死亡者減少目標達成率

(当該年の年間死亡事故件数—180)

1 — _____

180

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(設定の理由、指標動向に影響する外的要因など)

社会的に損失の大きな交通事故死者の減少率を表す。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

交通事故死者数 165人以下

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H12年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

自転車歩行者道の設置、交差点改良等の交通安全施設の充実。

前年度に残った課題

コスト削減を進めているが、県単予算の削減により歩道整備等の総合計画目標達成が危ぶまれる。

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

自転車歩行者道の設置、交差点改良等の交通安全施設の充実。

本年度残ると思われる課題

コスト削減を進めているが、県単予算の削減により歩道整備等の総合計画目標達成が危ぶまれる。

5 基本事務事業の改革方向

交通事故の防止を図るため、安全かつ円滑な自動車交通の確保と自転車・歩行者の安全で快適な通行確保等道路交通安全施設の整備を進める。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等	必要概算 コスト
	目 標	実 績		所要時間	
前々年度 (H10年度)		73.3		15,472,781 千円	15,977,853 千円
				120,830	
前年度 (H11年度)	88.9			9,637,078	10,031,907 千円
				95,139 時間	
本年度 (H12年度)				9,190,778 千円	12,745,522 千円
				84,839 時間	
本年度補正後 (H12年度)				9,189,260 千円	12,744,014 千円
				84,839 時間	
翌年度 (H13年度)				9,022,188 千円	12,595,420 千円
				85,280 時間	
計画目標年次 (H 年度)				――	――

予算額・所要時間には再掲事業を含む。

7 翌年度(平成13度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： ～5億円 ～1億円 ～5千 ～1千万 ・1千万未満 * 休止・廃止>

(基本事務事業の成果向上への貢献度合)

直接的に貢献する	* 放置自転車対策事業費補助金（廃止） ・ 安全運転模範者指定育成事業（再掲）→	街路事業(公共)（再掲）→ 街路事業(県単)（再掲）→ 交通結節点周辺バリアフリー 改善事業（再掲）→	
間接的に貢献する	特定交通安全施設整備事業→ 県単交通安全対策事業→		
貢献度合の考慮外 ～活動基盤となる 事務事業など			
	即効性（２年未満）	中期的（３年～５年）	長期的（５年超）

各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に（新）を付す。廃止・休止事業は割愛

事務事業名 (担課課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度 (±時間)
県単道路交通安全事業 (道路保全課)	交通事故死亡者減少目標達成率	交通事故防止のため、防護策、道路標識、反射鏡、視線誘導標等を設置し、交通安全を図る。	1,594,000	33,000	18,500	350
特定交通安全施設等整備事業(道路保全課)	交通事故死亡者減少目標達成率	交通事故防止のため、自転車歩行者道の設置、交差点改良等の交通安全施設の充実等を図る。	1,890,000	87,000	18,400	839
安全運転模範者指定育成事業(再掲) (生活課)	模範者育成度×意見発表度	公募及び市町村長等の推薦により模範者を指定し、常に他の運転者の模範となり安全運転を広め、交通安全のモニターの役割も担い、交通安全を広く県民に広める。	188	72	380	300
街路事業(公共)(再掲) (まちづくり推進課)	県管理都市計画道路改良率	市街地における県管理の都市計画道路(街路)で、地域の緊急課題であり整備効果の高い区間を選定し、国の補助及び交付金を受け整備する。	3,738,000	230,000	33,000	0
街路事業(県単)(再掲) (まちづくり推進課)	県管理都市計画道路改良率	市街地における県管理の都市計画道路(街路)で、地域の緊急課題であり整備効果の高い区間を選定し、国の補助及び交付金の対象とならない個所を整備する。	1,460,000	157,000	13,000	0
交通結節点周辺バリアフリー改善事業(新)	県管理都市計画道路改良率	駅周辺の道路施設について、バリアフリーの観点から総点検を行い、整備方針、整備計画を策定する。また具体策として伊勢市駅周辺の県道のバリアフリー化を行う。	340,000	340,000	2,000	2,000